



東久留米市立久留米中学校

令和7年 6月 30日

# 久留米中だより

〒203-0052  
東久留米市幸町5-9-1 1  
TEL 042 (471) 0030  
ファクシ 042 (472) 7994



教育目標 「知性を高める 心を豊かにする 体を鍛える」

## 「はるかのひまわり」が教えてくれるもの

校長 木下 信久

梅雨の晴れ間においても日差しがいよいよ強くなり、夏の訪れを感じる季節となりました。平素より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

6月7日(土)に開催した第79回運動会では、998名も保護者、地域の方々に、生徒の真剣な眼差しと、仲間と心をひとつにして取り組む姿をご覧いただきました。運動会実行委員会の生徒が主体となり、自分たちの力で運動会を成功に導こうとする強い意欲が感じられた運動会であり、閉会式をご覧になったご来賓、地域、保護者の方々からも、生徒の取組に対して大きな拍手をいただきありがとうございました。この運動会で得た力、高めた力を今後の学校生活に生かすことができるように努めてまいります。

さて、皆さまは、「はるかのひまわり」はご存じでしょうか。1995年の阪神淡路大震災で命を落とされた小学生・はるかさんの自宅跡地に咲いた一本のひまわり。それは、深い悲しみの中から芽吹いた希望の象徴として、多くの人々の心に光を灯しました。そして、その種は「命の大切さ」や「生きる力」を伝えるものとして、今も全国各地で大切に育てられています。

### ○はるかのひまわりの由来○

平成7年1月17日の明け方、5時46分、大きな地震が襲いました。木造の建物は、その揺れでひともたまりもなく崩れてしまい、2階部分が崩れ落ち、1階は完全に押しつぶされてしまいました。はるかちゃんがガレキの下から発見されたのは、地震発生から7時間後でした。

震災から半年後、かつてはるかちゃんの家が空いた空き地、はるかちゃんの遺体を発見した場所。驚いたことに、その無数のひまわりの花が、力強く、太陽に向かって咲いていました。お母さんはひまわりを見て、「娘がひまわりになって帰ってきた」と涙しました。近所の人たちは、この花をこう呼びました。「はるかのひまわり」何も無くなってしまった町の空に、次々に咲いた大輪の花はたくさんの人を励まし勇気づけました。

### 【はるかのひまわり絆プロジェクト ホームページから抜粋】

阪神淡路大震災から30年余りが過ぎ、このことを知らない世代が多くを占めるようになりました。しかし、「はるかのひまわり」は、悲しみの記憶と共に、それを越えて希望を育む姿勢を私たちに伝えてくれています。子どもたちがどんな困難に出会っても、誰かの支えとなり、また誰かの支えを感じながらたくましく生きていけるように、私たち大人もまた、その背中をしっかりと支えてきたいと思います。

昨年、東久留米市内で地域等のためにご活躍されている方と出会い、はるかのひまわりの種子を分けていただきました。主事さん方が使われていなかった花壇等を整備していただき、2月頃に種を植えてくれました。小金井街道沿いのひまわりも大きく育っていますが、特に校庭のひまわりは一段と大きく育ち、大輪の花を咲かせ、子どもたちを見守ってくれています。

今年、本校で育てた「はるかのひまわり」から種子を収穫することができた際には、子どもたちや地域の方々とも共有し、思いをつなぐことができればとも考えています。学校と地域、そして家庭とが手を携え、子どもたちの心と命を育む教育を共に進めて参りましょう。どうぞよろしく願いいたします。



## ○空調の更新及び新設について

東久留米市教育委員会から連絡があり、令和7年度の10月から2月にかけて、本校の空調(冷暖房)の更新及び新設工事が行われることが決定しました。すでに空調が設置され10年以上が経過しているものは更新工事を行い、B棟の特別教室のように設置されていなかった特別教室には新設工事をしていただけたとのことです。工事期間中には、生徒への影響が最低限になるように、今後詳細を打ち合わせてまいります。

## ○オープン・セサミ(O・S)について

本校には、地域の見守りボランティアの方々のご協力により「オープン・セサミ」という部屋が開設されています。オープン・セサミは学校生活に少しだけ疲れてしまったときに、学校にいながらホッとできたり、気持ちを切り替えるためにさわがしい教室から離れたくなったりしたときに訪れることができる、学校内のオアシスです。

オープン・セサミは勉強を教わる場所ではありませんが、自己の課題に取り組むなど、各自のペースで学習を進めることもできます。また、オープン・セサミで、ちょっとだけ緊張をほぐしたり、教室に入りづらくなった時には、背中を押してもらったりすることもできます。教室のちょっと手前、家よりは居心地は悪いかもしれないけど、ほんの少し、子どもたちの意欲のチャージができる、そんな部屋です。

「使いたいな」と思ったら、本校の教職員にご相談ください。

## ○くるめラ Kids への出演について

毎週日曜日の10:00~10:54まで東久留米市・清瀬市・小平市のコミュニティラジオ局の番組「くるめラ Kids」に本校の生徒会役員が出演することになりました。7月6日(日)の午前10時からの出演になります。この番組は子どもが主役の番組で、子ども夢を応援し、育てる番組として地元の方々を中心となって企画・運営されています。お時間がありましたら、ラジオの音に耳を傾けてみてください。

\*FM「TOKYO854くるめラ」(85.4MHz)

## ○学力向上に向けた取組について

昨年度から、2つの新たな挑戦を始めています。本日、別紙にて参加申込書を生徒に配布しましたので、内容をご確認いただき、希望する場合は参加申込書を7月10日(木)までに担任へご提出ください。

・第1弾:小学校(小山小と本村小)の夏季算数補充教室を久留米中生がボランティアとして手伝う

ねらい:小学生へ算数を教えることを通して、アウトプットを増やし、学力を高めることへの意欲を向上させること

・第2弾:夏季休業中に東田式パズル教室を実施する

ねらい:学習を行う上での基礎となる思考力や問題解決能力、粘り強さなどを養うこと

※4月の全体保護者会でも保護者の皆さまにご依頼させていただきましたが、本教室の実施に向け、監督や引率にご協力いただける保護者の皆さまを募集しております。パズル教室は生徒と一緒に参加していただいて構いません。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。